

Consultants

## 建設コンサルタントの成長と魅力向上に向けて



中村 哲己

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 会長

このたび、建設コンサルタンツ協会の第17代会長に就任いたしました中村哲己です。協会並びに建設コンサルタント業界の発展に全力で努めたいと思います。会員企業並びに発注者の皆様、関係各位のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 建設コンサルタントの60年の歩み

今年、2023年は、協会設立60周年になります。1963年3月4日設立時の会員は19社でした。その後2003年までの大幅な増加（515社）、その後の減少と増加により、2023年3月31日現在で会員数501社の組織に成長しました。

設立後50年の社会情勢は、高度経済成長や公害問題、技術革新、内需拡大、バブル経済の崩壊、環境問題など大きく変化しました。その中で建設コンサルタントの活用が加速され、インフラ整備の調査、計画及び設計段階を自立的に担うまでに成長しました。

その後10年の社会情勢は、頻発化・激甚化する災害、インフラ老朽化、少子・高齢化、新型感染症拡大、DXの推進など劇的に変化しています。この間、国においては「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の2度の改正、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策及び5か年加速化対策、労働基準法の改正、緊急事態宣言などの対応がなされています。建設コンサルタントは、これらをはじめとする社会からの様々な要請に対応し、インフラ整備の企画、施工、維持管理、運用などへ業務領域を拡大し、成長してきました。

その一方で、経営基盤の強化、担い手の確保、就業環境の改善、成果品の品質向上など、新たな課題が顕在化しています。

### 建設コンサルタントの成長に向けて

建設コンサルタントの成長を支えたのは、協会会員皆様

の全力での協会活動によるものです。そして発注者の皆様のご理解とご支援によるものです。協会は、業界を取り巻く環境の改善に向けた自助努力に加え、発注者の皆様との意見交換会などを通して課題の解決を進めてきました。今後も、課題の実態をデータ化して分析し、目指すべき姿や目標を明確にして具体的な要望と提案につなげ、課題の改善や解決を継続的に続けていくことが必要です。

さらに、建設コンサルタントには、今後想定される社会情勢の変化に対応しながら、その役割を多様化し拡大することが求められます。それは、社会の急速なデジタル化に伴う多種多様な分野・領域を横断する事業への対応、新たな価値の創出や社会貢献に向け、他分野と連携した事業領域の拡大への対応などです。

### 建設コンサルタントの社会貢献と魅力向上

建設コンサルタントの企業活動や協会の事業活動は、持続可能な社会資本の整備を支えることでSDGsの17の目標達成にも寄与する、大変重要な社会貢献活動といえます。さらに、協会が現在取り組んでいる「インフラ整備構想の策定」は、分散型国土構造の構築、魅力ある地方創生、災害に対するリダンダンシーの確保などにつながる重要な活動です。その自覚と責任をもって、今後も社会資本整備に係わる課題解決に向けて、活動していくことが必要です。

そして、このような協会活動を通して、安心して働き、技術力を磨いて様々な課題に挑戦し、その成果が評価され、技術者や企業が成長していくことが、建設コンサルタントの地位を高め、業界の魅力の向上につながると、私は思います。

最後に、建設コンサルタントが多くの課題を解決し、魅力ある業界として社会に貢献すること並びに社会の発展を祈念して、会長就任の挨拶といたします。